

平成 28 年 8 月 15 日

各 位

株式会社フィスコ
代表取締役社長 狩野 仁志
(JASDAQ・コード3807)
問い合わせ先：
取締役管理本部長 松崎 祐之
電話番号 03 (5774) 2440 (代表)

特別損失の発生に関する補足説明のお知らせ

当社は、平成 28 年 8 月 12 日に開示しました「第 2 四半期連結業績予想と実績との差異及び特別損失の発生に関するお知らせ」に関する補足説明をお知らせいたします。

記

当社は、連結子会社の株式会社ネクスグループに対するのれんにつき、慎重に検討した結果、減損損失として 442 百万円を特別損失に計上いたしました。

当社は、これまで様々な分野の企業買収及び投資事業を通じて、買収後の収益改善や新たな分野での事業ナレッジと将来の更なる投資につながるキャッシュフローの増大、株式の含み益を蓄積してまいりました。今回、数年かけてデバイス事業を受託型開発から開発先行型へ事業転換を図ったことにより、過去の開発仕掛の償却を実施したこと及び、これまでよりも売上高の計上時期の不確実性が増す結果となり、のれんの減損の兆候を認識したため、特別損失を計上することとなりました。

一方で、当社の子会社株式としての評価は、依然として多額の含み益を有しており、株式会社ネクスグループに対する企業買収及び投資の実態を正しく表してはおりません。

また、これら特別損失は現金の支出を伴わない費用計上になり、キャッシュフローを毀損することはないため、当社の今後の成長及び事業運営には影響は無いものと認識しております。

企業の収益性を図る指標のひとつである EBITDA は前年同四半期比較においても増加しており、企業買収等を通じた当社グループシナジーによる高付加価値サービスの提供を実現し、今後さらなる高成長企業および事業分野への転換を目指してまいります。

以 上